

## 「解答」・「解答例」

選抜区分	2024年度（選抜区分：一般選抜前期日程） 法学部 法律学科及び政策科学科（科目名：小論文）
<p data-bbox="188 434 501 465">問題1 標準的な解答例</p> <p data-bbox="188 524 1394 927">勉学の機会を均等にしても家庭環境の違いにより学力の差が現れる。実際、難関大学には上層の子が集まっている。進学資金だけが問題なのではなく、家庭事情により言語や教養の習得に差が出て、富裕層の子は親を手本に社会評価の高い職業に就くべく努力するのに対し、そうでない親の子は、親と同じ低賃金で社会評価の低い職業に甘んじるからである。これが学歴の階層再生産である。ところが、明確な階級区分のない日本では、この階層再生産に気づかない。本来は出身階層や環境や遺伝という外因によって学力が規定されるのに、誰もが学校に行く環境を整え、形式的な客観性や平等に注意を払えば、あとは各自の才能や努力が結果を決め、それなら公平だという考えが定着した。このように階層再生産のメカニズムを隠すことが学校の目的であり、平等な社会を実現するための方策がかえって既存の階層構造を正当化し、永続させるのである。</p> <p data-bbox="188 1039 443 1115">問題2 出題の意図 別紙</p>	